

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	ボランティアセンター運営事業			
予算科目	3 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	ボランティアを希望する一般市民			
根拠法令等	伊予市ボランティアセンター条例			
事業の目的	伊予市社会福祉協議会に「ボランティアセンター」を設置して、ボランティア相談窓口事業、ボランティアコーディネート推進事業等を実施することにより、助け合い、支え合いのボランティア活動の普及、推進に努める。			
事業の内容	ボランティアの仲介、ボランティア相談窓口の設置、ボランティア講座の開設、ボランティアグループの連携強化			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	個々で活動しているボランティアサークルがボランティアセンターで指導・育成・交流を図りながら人脈を広げ、各地域で活動できる人材を育成する。			
改善策の 具体的 取り組み	ボランティアセンターとして、人材育成を図るため、地域活動支援や交流会を開催している。また、災害時対応マニュアルを作成し、職員に周知徹底を図り、また、市民向けには、災害時対応の研修会を開催し、啓発を図っている。指定管理者として、ボランティア団体に利用の呼びかけをしているが、十分に活用できているとは言えないため、子育て支援の施策のため、一部施設を転用することとなった。			

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	3,112	3,098	899	2,726
	人件費	239	241	161	241
	合計	0	3,339	1,060	2,967
人件費 内訳	人工数	0.03	0.03	0.02	0.03
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	238	241	160	241
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,351	3,339	1,060	2,967

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
ボランティアセンター運営委託料	千円	1101	825	412	825
ボランティア活動団体会員数	人	845	900	589	1177
ボランティア個人登録者数	人	45	50	42	31

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	800	800	0	0	0	1,600

成果指標				
成果指標	ボランティア団体会員数・個人登録者数			
指標設定の考え方	ボランティアの養成・確保や活動の活性化、地域福祉活動の担い手の育成の支援を図る			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目標	900	900	0	0
実績	890	1208	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>ぽかりん通信(毎月発行)を発行し市民に対しボランティアセンターの活動の紹介、ボランティアの募集や研修会の案内を周知している。これからの社会福祉情勢はボランティアの参画は必要不可欠なものとなり、今後も地域福祉の人材育成と併せて災害時にも対応出来る人材育成が必要である。指定管理者である社会福祉協議会には、既存ボランティア団体の更なる資質向上と自主活動を支援しながら、地域で新たなグループの結成並びに動けるような環境整備に努める必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>定期的にボランティアセンターの活動を広報で紹介し、ボランティアの募集や研修会を開催し、福祉の人材育成と災害時に備えた市民への啓発活動を行っている。指定管理者である社会福祉協議会が、センターの運営と施設管理を行い、既存ボランティア団体の自主活動を支援しながら、地域で新たなグループが活動できるような環境整備に努めている。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	<p>多発する災害に対してボランティア活動の重要性は高まっており、ボランティアセンターの役割もますます顕著なものとなっていることから、本市のボランティアセンターもより一層の活性化が望まれる。しかしながら、現在の本市ボランティアセンターは社協事務局事務所の色合いが強く、本来のボランティアセンターの指定管理者の専務室として整理し、社協事務局とは別途に設置する必要がある。</p>

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。